

ともえ



繁栄を
あなたと育てる
商工会議所



旧金森洋物店（郷土資料館）

No. 146 函館商工会議所報
1993—10月号

はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。

みなさまの



函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL 22 - 1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42 - 3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23 - 6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51 - 1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41 - 6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL 73 - 2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52 - 0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84 - 2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26 - 3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65 - 2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51 - 5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2 - 3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57 - 1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5 - 5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53 - 5521(代)			

Lhくみのローン

手続カンタン
スピード融資

目的ローン

マイカーローン

ビジネス・オート
ローン

★詳しくは窓口へ
お問い合わせ下さい。



・コミュニティバンク・

函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎(代)23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572(代)
- 上磯支店 ☎73-2308(代)
- 美原支店 ☎46-9121(代)
- 十字街支店 ☎26-5544(代)
- 花園支店 ☎55-2110(代)
- 富岡支店 ☎43-1311(代)

●ともえ10月号 (通巻146号) 目次

今月の表紙／視点 2
 会議所の動き 5

・第2回会員懇親の集い開催

・第2回サハリン友好の翼

・東北・北海道商工会議所連絡会議開催

・**第1回**函館経済団体協議会開催

・中央陳情を相次ぎ実施

・全道珠算競技大会開催

・愛知県商工会議所連合会が調査研究に来函

・Rコーナー 6

調査レポート 6
 9

・地域の景気 金融経済概況 **八月**

・市内第一種大規模小売店舗売上高 **八月**

・函館市の灯油・ガソリン価格動向

誌上講演 10
 11

・エイズと企業—予防と対策

・人を活かす **提案**

共済推進コーナー 13
 12

テイタタイム 13
 12

・暮らしのワンポイント

・さわやか君

・有段を目指して 詰碁・詰将棋

アドバイスコナー 14
 15

・戦略的経営計画のため方・ポイント

Q & A 16
 17

・みんなの相談室 **税務相談**

ご案内 18
 20

・ご存知ですか **マル経資金**

・金融制度の手引発刊!

・93タックスフェア開催のお知らせ

・第35回優良商工従業員表彰

・女性のための**職安**開設のお知らせ

・検定試験のお知らせ

・中小企業相談所からのお知らせ

・ご利用下さい! 本所の個別専門相談

◇今月の表紙

旧金森洋物店(郷土資料館)
 市電末広町電停から十字街寄り
 の電車通りに建つ「旧金森洋
 物店」は、明治十三年(一八八
 〇年)、当時の豪商・初代渡邊熊
 四郎氏によって建てられた。
 当時の函館は火災が多かった
 ことから、開拓使では区画整理
 の実施と家屋の不燃質化を打ち
 出しており、これに協力して、
 開拓使製造の茂辺地レングを使
 い、ヨーロッパのレンガ建築技
 術と、日本の伝統的な土蔵造り
 を折衷した函館で最初の洋風不
 燃質建築物である。
 金森洋物店は、昭和五年、森
 百貨店(棒二森屋の前身)とし
 て電車通りの向い側に七階建の
 ビルを新築、移転し、さらに昭
 和十一年には、新たに棒二森屋
 百貨店として函館駅前に進出し
 たこともあり、種々の変遷を経
 ながらもこの建物は保存されて
 きた。その後市に寄贈され、昭
 和四十四年十一月から市立函館
 博物館郷土資料館として蘇り、
 舶来ストローブや船だんすなど、
 開港当時の各種資料を多数展示
 し、市民や観光客らに公開され
 ている。
 昭和三十八年七月、北海道の
 有形文化財に指定されている。

視 点

今年には冷夏と長雨などで、典型的な冷害となりました。最近毎年のように繰返されている暖冬、冷夏、豪雨などの異常気象をみてみますと、気象というものは毎年変動するのが当り前で、何も起らないのが異常気象であるということになりかねない一面があり、困ったことです。

所で先月二十一日に、日本銀行は公定歩合を〇・七五%引き下げ、一・七五%といたしました。これに伴い長期・短期のプライムレート、そして預金金利も下がりが、かつてない超低金利時代を迎えることとなりました。

前回の不況時における公定歩合の動きは、一九八六年一月より一九八七年二月の間五回にわたり、五・〇%より二・五%に引き下げられており、その間平均してみますと、一か月当り〇・一九%の下げ幅となっております。

これに対して今回は、一九九二年七月より、一九九三年九月迄の間、七回にわたり、六・〇%より一・七五%に引き下げられ、この間平均月〇・一六%の下げ幅で、比較的緩やかに引き下げられてきたといえます。

この有史以来最低ともいえる低金利時代に対処していくとしても、やはり将来の経済の明るい見通しが前提となり、現在のような不透明さがなお続くとするれば、所得減税が行われても、その効果はあまり期待できないともいわれています。しかし、低金利というのは、設備投資の場合にとっては魅力があります。思い切った省力化、合理化のための投資を考えてみる良い機会ではないでしょうか。

会議所の動き



▼番号が発表されるたびに歓声上がる大抽せん会



菅原洋一コンサート
に聞き入る会員の皆さん

本所では会員サービスマニヤの環として、去る十月六日、市民会館大ホールにおいて、第二回「会員懇親の集い」を開催しました。この集いは、日頃の本所に対する会員各位の協力に対し、感謝の意

第2回会員懇親の集い コンサートや大抽せん会を開催

を表するとともに、平素企業経営で忙しい会員の皆様に、ひとときの間大いにくつろいで戴くため、三年に一回開催することとしているものです。

当日は、まず第一部として菅原洋一コンサートが開催され、オリジナル曲を始め映画の主題曲やタンゴの演奏で会場を埋めた約千二百名の会員を魅了しました。また第二部では、議員や会員事業所約百三十社から協賛、提供いただいた国内旅行を始めとする豪華賞品二百点余が当たる大抽せん会が、熱気あふれる中で行われました。これらの催しは、次回もさらに内容を十分充実して実施していきたいと考えています。また、本所では、今後も行動する会議所として地域商工業の振興

発展のため、さらに諸事業を推進してまいります。そのためには、まず何よりも足腰の強い組織が必要と考え、会員数四千を目指し、目下、会員増強運動を行っています。ですので、新会員の加入について特段のご支援とご協力をお願いいたします。

第2回 サハリン友好の翼

ユジノ・サハリンスク訪問直行チャーター便「第二回サハリン友好の翼」が、去る十月四日から七日の日程で実施されました。

このチャーター便は、来年四月に予定されている函館とユジノ・サハリンスク間の定期航空路開設に向けて、当該路線の需要を喚起し、内外にその重要性や利便性をPRするとともに、サハリン州との友好を深めるため本年七月に引き続き実施されたもので、約百四十名が参加、代表団による関係機関との意見交換をはじめ、市内や産業施設の視察等を通じて、友好親善を深めてまいりました。

東北・北海道商工会議所連絡会議開催

決議7項目を中央陳情

第二十八回東北・北海道商工会議所連絡会議は、去る九月八日、弘前市で開催され、本道側三十二、東北側四十二の商工会議所から会頭、副会頭等百八十余名が参加、本所からは、小笠原副会頭など三名の役員が出席しました。

本会議では、東北六県商工会議所連合会の氏家会長（仙台商工会議所会頭）を議長に選出して議事



▲議案の審議を行う参加者

に入り、(一)景気対策の推進について、(二)東北・北海道新幹線のフル規格による建設促進ならびに鉄道交通網の整備促進について、(三)東北・北海道縦貫・横断自動車道等の建設促進ならびに道路網の整備促進について、(四)東北・北海道の

第1回 函館経済団体協議会開催

本年度の第一回函館経済団体協議会（本所・亀田・銭亀沢両商工会で構成）が去る九月六日、本所において開催されました。

今回の会議は、既に函館市が昭和六十年に都市計画決定している新外環状線の早期建設について、経済界の立場で今後の促進方を協議するもので、始めに市企画部計画推進室佐藤参事より同路線建設に係る諸問題について説明を受けました。その後、活発な意見交換が行われ、特に現在の外環状線は交通量の増大から既に飽和状態に

空港ならびに航空網の整備促進について、(五)北海道東北開発公庫の機能の拡充強化について、(六)地域活性化と産業再配置政策の強化拡充について、(七)北方領土返還要求運動の促進についての七件の議案を審議し、いずれも満場一致で原案のとおり採択されました。なお、決定された案件については、去る九月二十一日、関係省庁に対して陳情を行いました。

あり、その解決策としても重要である。また、市外周部を函館新道、函館江差自動車道等の幹線道路や函館空港などの交通拠点とを結ぶ同路線は、今後の地域の振興発展に不可欠であるとして意見が一致し、新外環状線の早期建設促進について関係機関に要望することを決めました。

中央陳情を相次ぎ実施

北海道新幹線建設促進道南地方

期成会（会長・本所若林会頭）及び北海道新幹線建設促進期成会（会長・横路北海道知事）の中央陳情が、九月二日と九日にそれぞれ実施され、本所から若林会頭が参加し、北海道新幹線の早期着工と青函同時開業について、連立与党や自由民主党、関係省庁に対して陳情を行いました。

また、当市では、第八次港湾整備五箇年計画に基づく大型公共ふ頭建設を進めているほか、函館空港の国際線ターミナルビルが明年四月のユジノ・サハリンスク市との定期便就航に向けて着工されているなど、輸入食品の取扱いに係る業務が、今後増大してくることが予想されるため、去る九月十三、十四日の両日にわたり、函館市や本所など関係二十二団体による陳情団（本所より小笠原副会頭参加）が、小樽検疫所や厚生省に対して、小樽検疫所函館支所内に、「食品衛生法」に基づく輸入食品の届出窓口を設置することに

全道珠算競技大会開催 団体・個人競技等で日頃の技を競う

第五十一回全道珠算競技大会が去る九月十二日に当函館市で開催され、全道各地から参加した三百九十七名の選手が、団体・個人競技、種目別競技、都市対抗競技に日頃磨いた技を競いました。

当市での開催は、昭和五十八年以来十年振りで、函館地区から四十八名の代表が参加しました。

競技の結果、個人競技の全種目で満点を出した美唄市の工藤由季夫君が、二年連続で「そろばん北

海道一」の栄誉に輝きました。

各競技優勝者は次のとおりです。

※（ ）内は所属会議所名

- 【そろばん北海道一】
- ▽工藤由季夫（美唄）
- 【団体競技】
- ▽一般 たまえ珠算塾
- ▽高校 岩見沢東高
- 【個人競技】
- ▽一般 工藤由季夫（美唄）
- ▽高校 大谷佳史（岩見沢）
- ▽中学校 大滝学（帯広）

▼ 団体競技での集計結果に見入る選手達



▲真剣な表情でそろばんに向う選手たち

▽小学校 柳谷真悟（帯広）

【種目別競技】

◆読上暗算

▽一般 平野仁志（美唄）

▽高校 大谷佳史（岩見沢）

▽中学校 奈良晴洋（美唄）

▽小学校 柳谷真悟（帯広）

◆読上算

▽一般 平野仁志（美唄）

▽高校 伊藤隆広（札幌）

▽中学校 田中敦志（帯広）

▽小学校 柳谷真悟（帯広）

【都市対抗競技】

▽札幌市

以下函館関係分入賞者

※（ ）は在籍学校名

【個人競技】

▽中学校三位 八木泰樹（桐花）

▽小学校三位 小野寺美香（深堀）

【種目別競技】

◆読上暗算

▽中学校二位 八木泰樹（桐花）

▽小学校二位 山本梢太（上磯谷川）

▽小学校三位 尾形知則（青柳）

◆読上算

▽中学校二位 八木泰樹（桐花）

▽小学校二位 山本梢太（上磯谷川）

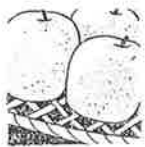
▽小学校三位 新家子由花（本通）

愛知県商工会議所連合会 業務調査研究のため来函

愛知県商工会議所連合会傘下の商工会議所経営指導員一行九名が本所の業務、特に経営改善普及事業視察のため、去る九月二十九日来函しました。

当日は、本所の経営指導員三名が出席し、まず当市の経済状況、経営改善普及事業の全般的内容について概略説明がなされました。

この後、各地より地域が抱える諸問題、特に巡回、窓口相談指導体制の強化、施策のPR、マル経資金の効果的運用等、円滑な事業遂行のための施策について、活発な意見交換がなされました。



事務局日誌

9月

* 正副会頭会議

- 7(火) 第46回正副会頭会議
- 28(火) 第47回正副会頭会議

* 会 議 (日 商)

- 2(木)～3(金) 小企業等経営改善資金融資制度に係わる運用推進研究会
- 21(火) 第419回常議員会
- 〃 第126回役員総会
- 22(水) 第78回通常会員総会、懇親パーティー
- 28(火)～29(水) 小規模企業対策の推進に関する説明会

* 会 議 (ブロック会議)

- 8(水) 第28回東北・北海道商工会議所連絡会議昼食会
- 〃 第28回東北・北海道商工会議所専務理事・事務局長会議
- 〃 第28回東北・北海道商工会議所連絡会議本会議、講演会懇親会

* 会 議 (道商連)

- 8(水) 第27回運営委員会
- 17(金) 第11回商工会議所婦人会全道大会

* 程 審 査 会

- 14(火) 小企業等経営改善資金審査会

* 諸 会 議

- 1(水) 函館財務事務所財政金融政策等に対するヒアリング調査
- 3(金) 平成5年度貿易ブロック会議
- 6(月) 函館経済団体協議会及び懇親会
- 8(水) 中小企業大学校東京校の総合診断実習に係わる広域商業診断報告会
- 〃 函館園企業誘致推進協議会'93北海道視察会
- 〃 議員会役員会
- 〃 65歳以上継続雇用推進事業打合せ会
- 9(水) 平成5年度障害者職場見学会
- 〃 函館空港連絡協議会
- 〃 第21回赤十字北海道大会、記念パーティー
- 10(金) 函館ハーフマラソン大会実行委員会
- 〃 北海道信用保証協会函館支部打合せ会
- 11(土) 第51回全道珠算競技大会事前会議
- 13(月) 第1回国立函館大学構想調査研究会
- 〃 函館生命保険協会現地管理者教育講演会
- 〃 大型店に関する四者懇談(道通産局、市役所、渡島支庁、本所)
- 14(火) 市民生協旭岡店の増床および閉店時刻の変更申し入れに伴う協議会
- 〃 (協)函館専門店会新社屋落成記念講演会
- 16(木) 雇用促進事業団函館職業能力開発促進センター推進協議会第1回推進会議
- 17(金) 第8回北海道会議函館フォーラム【～18(土)】
- 20(月) 函館ソフトウェア専門学校第8回運営委員会
- 〃 平成5年度小企業等経営改善資金貸付推薦団体経営指導員連絡協議会
- 〃 北東公庫平成6年度予算概算要求説明会
- 21(火) 函館販売士協会役員会、懇親会

- 21(火) '93タックスフェア打合せ会議
- 〃 所報「ともえ」10月号 No.146編集会議
- 〃 雇用保険適用事業所の実態調査
- 22(水) 函館税務署広報連絡協議会
- 27(月) 婦人会役員会
- 〃 第1回函館地域特定中小企業集積支援技術開発事業推進委員会

- 28(火) 伊田商店街振興組合青年部一行との懇談会
- 29(水) 愛知県商工会議所連合会業務研究会との懇談会
- 30(木) 管理職会議

* 講 習 ・ 催 物

- 5(月) 「エドワーズ・モースの見た函館」セミナー(五島軒本店)
- 8(水) 経営相談
- 19(日) 第3回フリーマーケットパラダイス in 十字街(末広町銀座通り)
- 22(水) 発明相談
- 24(金) 法律相談
- 26(日) '93函館ハーフマラソン大会
- 28(火) 複式簿記実務講座(～11/19)

* 刊 行 物

所報「ともえ」9月号 No.145

* 相 談 ・ 診 断

金融 110 税務 22 経理 9 経営 113 労働 0
取引 0 その他 0 合計 254

* 貸 室 30

* 文 書 受信 166 発信 19

* 検 定 ・ 大 会

- 12(日) 第51回全道珠算競技大会

* 陳 情 ・ 要 望

- 2(木) 北海道新幹線建設促進道南地方期成会 中央陳情
- 9(水) 北海道新幹線建設促進期成会中央陳情
- 13(月)～14(火) 輸入食品監視受付窓口の設置に関する陳情
- 21(月) 第43回全道商工会議所大会、第28回東北・北海道商工会議所連絡会議決議事項に基づく中央陳情

* 慶 弔 ・ その他

- 1(水) 札幌学院大学元澤俊明学長表敬訪問
- 〃 (社)生命保険協会函館事務室浅沼事務局長との打合せ
- 2(木) 日本高速通信代表取締役社長 東 欸 氏表敬訪問
- 3(金) 札幌アメリカンセンター新館長マーク・J・ディビットソン氏、副館長本堂藤昭氏表敬訪問
- 〃 (財)国土計画協会桑島理事、宮本事務局長表敬訪問
- 〃 函館地区移動大学開校式
- 〃 北海道運輸局長高橋通夫氏歓迎昼食会
- 8(水) 日本赤十字社名誉副総裁常陸宮妃殿下歓迎晩餐会
- 9(木) (株)函館国際ホテル新館上棟式
- 〃 厚生省小樽検疫所函館支所検疫衛生課長馬渡彰氏表敬訪問
- 12(日) 陸上白衛隊函館駐屯地創立43周年記念式典
- 13(月) 平成5年度第1回お茶の会
- 〃 北海道議会議員山田博氏北海道議会総務委員長就任祝賀会
- 14(火) 第53回おとり会ゴルフコンペ
- 16(木) 函館市西部地域振興協議会会長、副会長、常任理事表敬訪問
- 〃 富国生命保険(株)函館支社長表敬訪問
- 20(月) オーストラリア大使館内国防・陸・海・空軍武官J・W・ヒューレット海軍大佐、副武官M・J・クリフトン陸軍少佐表敬訪問
- 〃 在札幌米回国総領事館ニコラスM・ヒル領事表敬訪問
- 21(火) (株)A D S 菅田社長表敬訪問
- 25(土) 日本珠算連盟創立40周年記念式典
- 〃 函館ハーフマラソン大会開会式、前夜祭
- 28(火) エア・ニッポン (株) 山田隆英社長他3名表敬訪問
- 29(水) 東京航空局函館空港事務所長長田和郎氏転任挨拶

さらに、漁網の受注・生産も低調裡に推移している。この間、8月の段ボールの生産・出荷は青果物向けが好調に推移したことから前年を上回った。

(4) 建設関連

管内主要5官庁の公共事業発注額(8月末累計)は、5年度当初予算、6月補正予算の順調な発注に加え、北海道南西沖地震の緊急復旧予算の発注もあって、プラス16.8%と引続き前年を大幅に上回っている。また、函館市および周辺3町の新設住宅着工戸数(8月)は、持家が前年を大きく上回ったことから、全体では前年比プラス40.9%と大幅増加。この間、建設業者の受注状況を見ると、引続き製造業を中心とした民間設備投資関連には目立った動意がみられないものの、公共工事、住宅投資関連は好調を持続している。

(5) 農・漁業

農業では、水稲の作柄が夏場の異常低温の影響から全道の平均以上に悪化しており、近年にない凶作となることが確実視されている。一方、馬鈴薯の生育は平年並み、野菜についても生育は平年並みながら、価格は本州産の出荷減少等から平年に比べて高めとなっている。漁業では、近海真イカ漁が昨年の記録的な豊漁には及ばないものの、まずまずの好漁となっており、魚価は引続き弱含みに推移。また解禁された秋サケ漁は、水揚げ量、魚価ともに前年を上回る順調な滑り出しをみている。

(6) 消費関連

8月中の市内大型小売店(10店)の売上高

は、バッグ等の雑貨に動意がみられるものの、主力の夏物衣料品の低迷から12カ月連続の前年割れとなっている。耐久消費財では、新車自動車販売が前年同月の大幅前年割れの反動から5カ月振りにプラスの0.7%と前年を僅かながら上回ったものの、各車種ともに目立った動意は窺われておらず、依然として低調に推移。もっとも、家電販売では白物家電のほか、ワイドテレビ等AV機器が底堅い売れ行きをみせており、全般的に底打ち感が広がっている。この間、観光・レジャー面をみると、団体ツアー客を中心とした旅行需要減退に加え、地震による観光イメージの低下や天候不順の影響もあって、函館空港乗降客数が3カ月連続の前年割れとなる等、盛上りがりを欠いたまま夏場シーズンを終了。

3.金融事情(8月中)

実質預金は、法人預金の減少や7月末休日高止まり分の剥落もあって、月中33億円減と前年の24億減を上回る減少となった。また貸出しも、運転・設備需資とも引続き盛上りを欠き、前年の18億円増とは様変わりの中51億円の減少。この間、管内銀行の貸出し約定平均金利は、短・長期とも低下し、全体では月中マイナス0.026%の小幅低下となった。

銀行券は、行楽資金等の還流を中心に月中97億円の還収超と前年の78億円を上回った。

財政収支は、租税や保険の受入を中心に前年の30億円に比べて月中45億円の受超となった。

「確かめましょう 守りましょう 最低賃金」

北海道の最低賃金

道内のあらゆる産業の事業場で働く常用、臨時、パートタイマー、アルバイト等のすべての労働者に適用される北海道地域包括最低賃金が、次のとおり改正されました。

最低賃金額 1日…………… 4,467円
 ≍ **1時間(時間給労働者)…………… 559円**
効力発生年月日 ……平成5年10月1日

- ▶最低賃金額には精皆勤手当・通勤手当・家族手当・臨時に支われる賃金、時間外割増賃金等は算入されません。
- ▶最低賃金額以上の賃金を支払わないと最低賃金法違反となり、処罰されることがあります。
- ▶特定の産業(以下に掲げる産業)については、別に産業別最低賃金が定められています。ご注意ください。

「乳製品、糖類製造業」、「鉄鋼業」、「電気機械器具製造業」
 「鋼船製造・修理業、船体ブロック製造業、舟艇製造・修理業」等

お問い合わせ先/函館労働基準監督署 ☎23-1276

地域の景気

金融経済

概況 8月

(平成5年9月29日発表)

日本銀行兩館支店

1. 概況

管内経済をみると、公共事業の発注が順調であるほか、住宅投資も回復傾向を辿っているものの、製造業の設備投資が減少、さらに地震、天候不順の影響もあって個人消費の低迷が続いており、景気は足踏み状態を続けている。このため、管内の企業マインドは足許やや後退している。

すなわち、製造業では、外需好調を背景に半導体、水晶振動子、合板機械がほぼフル生産対応となっているほか、公共需要の堅調からセメント、造船が高水準の生産を続けている。これに対して、当地主力の水産加工では製品価格の低下もあってこのところ売上が一段と低下しているほか、水産加工機械でも関連業者の設備投資意欲低迷を映じて受注が伸び悩んでいる。また、製缶機械も消費関連需要の不振から、生産は依然抑制的。

一方、非製造業では、家電販売の底打ち感が広がりつつあるものの、市内大型小売店の売上高が、天候不順による夏物衣料品の低迷を主因に12カ月連続して前年を下回ったほか、自動車販売も大幅に減少した前年同月並みの水準に止まっている。この間、夏場観光は、景気低迷を映じた団体ツアーの減少等から盛上がり欠けたままシーズンを終了。

農業は、水稲の作柄が夏場の異常低温の影響から著しく悪化しているが、馬鈴薯、野菜の生育は平年並み。漁業では、近海真イカ漁がますますの好漁となっており、魚価は依然弱含みに推移しているが、解禁された秋サケ漁は水揚げ量、魚価ともに前年を上回る順調なスタート。

こうしたなか、8月に実施した管内企業短期経済観測調査結果(71社ベース)をみると、企業の業況判断は非製造業を中心に足許「悪い」超幅が拡大し、全体では「悪い」とする先が「良い」とする先を16%ポイント上回っ

た。また、先行き年末にかけても現状比はほぼ横這いを予想。この間、5年度の売上計画は、前年度をやや上回る見通しながら、個人消費の低迷や夏場観光が盛上りを欠いたことから、前回調査(5月)比下方修正されている。一方、5年度の設備投資は、製造業では前年度を2割弱下回る抑制的な計画となっているが、小売やサービスを中心とした非製造業では金利低下等を受けて投資姿勢が積極化しており、全体では3年振りに前年度をプラス12.6%上回る見通し。

また、雇用面では、労働需給は全体として引緩み傾向にあるが、8月の有効求人倍率(季節調整済)は、一部業種からの求人増により0.52倍(前月比プラス0.03倍ポイント)と5年1月以来7カ月振りに前月を上回った。

8月の金融動向をみると、預金、貸出しとも総じて低調裡に推移。管内銀行の貸出し約定平均金利は、短・長期とも引続き低下。

この間、日本銀行は、わが国経済がインフレなき持続的成長の経路に移行していくプロセスをできるだけ円滑なものとするため、9月21日、公定歩合を0.75%(2.5%→1.75%)引下げることと決定し、即日実施した。

2. 主要業種別動向

(1) 機械・電子部品

水晶振動子は、欧米向け輸出を中心とする移動体通信関連の需要好調からフル生産を持続しており、パート増員等による増産対応を実施。また、米国向け輸出の好調が続いている半導体や、豊富な受注残を確保している合板機械でも引続き高めの操業度となっている。また、造船は、新造船や橋梁部門の受注残消化からまずまずの操業度を維持。一方、水産加工機械は、関連業者の設備投資意欲低迷から受注が伸び悩んでおり、製缶機械でも、消費関連需要の回復遅延から抑制的な生産姿勢が続いている。

(2) 食料品

水産加工品の売上は、生鮮珍味では前年並みの水準を維持しているものの、乾燥珍味では高額品を中心とした需要の伸び悩み原料安による商品納入価格の低下から前年を下回っている。また、飼料・魚油の売上は引続き前年を下回った。

(3) その他製造業

セメントは、官公需の堅調からフル生産態勢で臨んでいる。一方、生コンの出荷量は、官公需が好調を持続しているものの、松山地方沿岸部で津波被害による工事進捗の遅れが続いているほか、市内での民需の落込みもあって前年を下回っている。また合板では、輸入安値代替品への需要シフト等から出荷が前年割れを続けており、製品価格も下落傾向。

図-1 灯油価格の推移 (1ℓ当たりホームタンク)

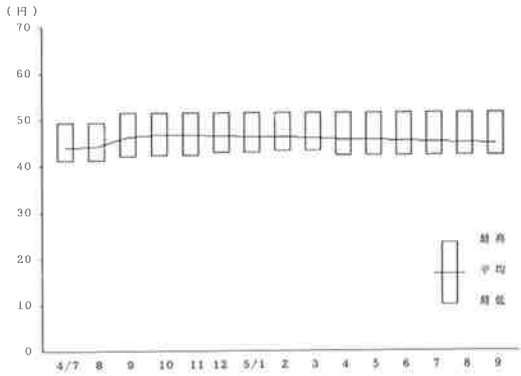


図-3 ガソリン価格の推移 (1ℓ当たり現金価格)

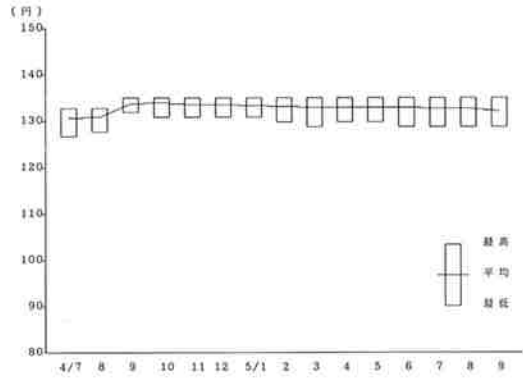


図-2 灯油価格の推移 (18ℓ缶配達)

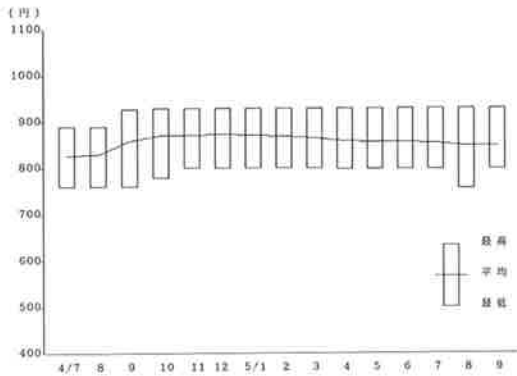
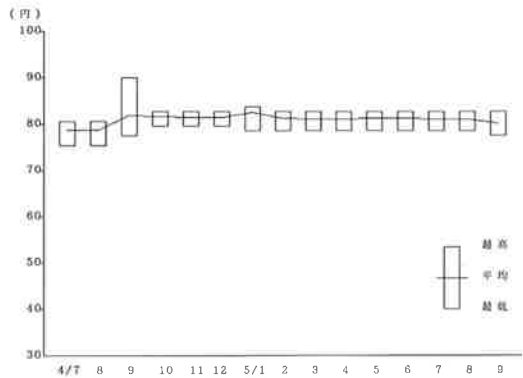


図-4 軽油価格の推移 (1ℓ当たり単価)



函館市内、第一種大規模小売店舗売上高<10店>

平成5年8月

統計資料

品名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	2,228,242	70.6	92.4
身の回り品	609,804	87.9	93.8
雑貨	745,155	103.3	100.1
家庭用品	618,746	87.1	93.4
食料品	2,163,221	96.8	97.5
食堂・喫茶	180,183	114.1	88.9
サービス	68,366	111.1	66.5
その他	547,876	93.6	110.9
総計	7,161,593	86.1	95.6

<10店>棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ダイエー五稜郭、
 テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ダイエー湯川店の各店

函館市の 灯油・ガソリン 価格動向

函館市では、毎月家庭用灯油・ガソリン等の小売価格調査（消費税含む）を実施していますが、最近の動向について概要をお知らせします。

平成5年9月現在の灯油1リットル当たりの平均価格は44.88円で前年同月より2.9%の値下がり、18リットル缶（配達料含む）では846.98円で同1.4%値下がりしています。

また、ガソリン1リットルの現金価格は、132.01円で同1.3%の値下がり、軽油1リットルは80.27円で同2.1%の値下がり、漸減傾向での推移が続いています。

市内灯油・ガソリン平均価格の推移

(単位：円)

	灯		油		ガソリン		軽油	
	1リットル (ホームタンク)	前年比	18リットル缶 (配達)	前年比	1リットル (現金)	前年比	1リットル	前年比
	昭和 6 2 年平均	43.50	- 23.1	806.91	- 23.0	122.44	- 4.1	79.22
昭和 6 3 年平均	35.42	- 18.6	658.90	- 18.3	117.23	- 4.3	65.37	- 17.5
平成 1 年平均	36.48	3.0	677.27	2.8	122.70	4.7	68.12	4.2
平成 2 年平均	45.31	24.2	829.05	22.4	130.54	6.4	75.95	11.5
平成 3 年平均	49.07	8.3	907.75	9.5	133.35	2.2	81.02	6.7
平成 4 年平均	45.22	- 7.8	846.86	- 6.7	131.68	- 1.2	79.60	- 1.8
平成4年 7月	44.00	- 7.0	826.33	- 6.0	130.72	- 0.6	78.67	- 0.7
8月	44.08	- 6.6	829.43	- 5.1	130.90	- 0.3	78.77	- 0.5
9月	46.21	- 2.2	859.35	- 1.8	133.73	2.1	81.95	3.8
10月	46.72	- 2.3	871.45	- 1.8	133.90	2.0	81.67	2.7
11月	46.57	- 4.2	871.27	- 2.9	133.56	0.8	81.48	1.6
12月	46.43	- 4.1	872.23	- 2.7	133.56	0.7	81.48	1.2
平成5年 1月	46.28	- 1.8	869.97	- 0.9	133.39	0.8	81.58	1.9
2月	46.17	1.7	867.92	2.3	133.13	1.6	81.20	3.3
3月	45.98	2.8	864.19	2.8	132.96	1.6	81.11	3.1
4月	45.65	4.0	857.66	4.5	133.04	2.6	81.02	4.2
5月	45.54	4.4	856.97	4.7	133.04	2.9	81.30	4.6
6月	45.32	3.3	856.49	3.8	132.96	1.8	81.20	3.6
7月	45.25	2.8	853.97	3.3	132.78	1.6	81.02	3.0
8月	45.10	2.3	847.49	2.2	132.78	1.4	81.02	2.9
9月	44.88	- 2.9	846.98	- 1.4	132.01	- 1.3	80.27	- 2.1

※ 調査日は毎月12日。

※ 平成1年4月分より消費税を含む。

(函館市商工観光部)

エイズ対策委員会を 設置しよう

エイズと企業 — 予防と対策 — (5)



エイズ予防財団 専務理事
医学博士 山形 操六

企業がエイズ対策を実施する場合、企業の規模によって内容がやや異なることもあると思うが、ここでは一応企業内健康管理部門に産業医を専属として持っている企業を対象として対策を作成してみよう。

■ エイズ対策委員会の設置

まずエイズに関する正しい知識の普及活動の中心となる対策委員会の組織づくりをお勧めしたい。会社内の労務、人事、地域活動等各部門の実務者や労組、従業員の親睦組織の代表者も加わるのが良いと思う。

各委員にはそれぞれの役割分担をする。例えば、情報の収集 - これは中央官庁から保健所、研究所、病院、公益法人の団体、ボランティアの団体等のものから、諸外国の企業のプログラム、法律や規制および裁判事例等範囲は広い。また教材として、パンフレット、リーフレット、ポスター、ビデオ等には関心をもってそれらの入手方に意欲をもつ必要がある。各委員が独自で教材の制作をしたり、ニュースを発行することも意味がある。

国内のある企業では、パンフレットを全社員に配布したところ、家族ともども良く読まれたとの結果報告があった。なかには、「注意人物をねらっ

て配ったのではないか？」と会社に問い合わせがあったとのこと。ビデオの貸出しをやっているところもあるが、いづれにせよ家族と一緒にあって、知識普及の実績効果をあげることは好ましいことと思う。

この対策委員会は、産業医あるいは産業医の推薦を受けた専門家を招いて、全社員に基調講演・セミナー等を繰り返し実施する計画をつくるのが大切である。そしてエイズウイルスの感染経路を熟知させ、危険な行為とそうでないものとははっきり区別して全社員に徹底させなければな

らない。

日常業務ではエイズウイルスが簡単に感染しないことが判明すれば、万一職場に感染者が発生した場合でも、科学的根拠のないパニックを抑えることができるはずである。

つづく

【山形操六（やまがた・そうろく）氏の略歴】

大正7年東京生まれ、昭和18年慶応義塾大学医学部卒。28年岩手県衛生研究所長。31年厚生省入り。医務局国立病院課勤務。45年千葉県衛生部長。46年環境庁発足時、初代の大気保全局長。62年財団法人エイズ予防財団専務理事。

わが国産業界のエイズ対策

- 1992年6月：東京商工会議所内にエイズ専門家と企業担当者で構成する「エイズ問題懇談会」を設置
- 1992年10月：東京商工会議所がマニュアルの発行
「職場とエイズ」、「職場でエイズに取り組もう」
- 1992年11月：東京商工会議所が「エイズ問題に関する欧米調査団」を派遣
- 1992年12月：国際シンポジウム「エイズ戦争と企業防衛」開催。全米エイズ対策リーダーシップ協議会代表B. J. スタイルス氏他2名参加
- 1993年2月：「エイズ問題訪欧米調査団報告書」発表
- 1993年4月：東京商工会議所主催シンポジウム「エイズ問題を考える」開催

人を活かす ⑤

「提案」を大切に

ユーズブランニング株式会社
代表取締役 宇角英樹

「目標による管理」という管理手法がある。達成目標を上から与えるのではなく、実行する本人が作るのである。つまり、自分で考えて作った目標には、人から与えられたものとは違った愛情があり、その目標達成のためには、自然に責任を感じることになる。人を活性化しながら、業務の向上を図ることができるのである。

部下から「こうしてみたい」という提案にも同じような内容がある。このような提案を大切にしたいのである。大切にしたいということには、二つの意味がある。

まず、いつでも、自分の提案を言える雰囲気があるということである。のびのびと振る舞えるような状況では、その人の個性が見える。もう一つは、そのような提案



に対しては、失敗するのではないかとというような心配が少しはあっても、やらしてみることである。「人が活きる」のは、その人の個性と行動環境とが適合した状況にあるときである。このように考え

てみると、自分の考え方で提案した内容というのは、その人にとっては無意識であっても、自分の個性に見合っていると考えてよい。個性と行動環境が十分に適合していることが期待できるのである。

ある部門に、どちらかというところ、鈍重な部類に入る担当者がいた。大学時代は柔道部で相当に鳴らしたスポーツマンである。しかし、新しい部署に配属された時に、先輩が一对一で仕事の説明をしているのに昨日の練習疲れのため居眠りをしていたという性格である。

この担当者の話である。ライバル会社の大手得意先があり、そこは、同社としても取引をしたいのだが、話し合いの糸口をつかみかねていた。

そのような状況を耳にしたようで、ある日この鈍重な担当者が上司のところへやってきたのである。彼が提案したことは、「自分がその糸口をつかんでみたい」ということであった。

(次回に続く)

71年の伝統と信用を誇る 早川特許事務所

特許、実用新案、意匠、商標、権利侵害
所長 弁理士 早川 政名

〒112 東京都文京区白山5-14-7 早川ビル 電話(03)3946-0531 <代表>

<発明相談> 11月17日水曜日、午前10時から午後5時まで、函館商工会議所で相談をお受けいたします。相談は予約制になっておりますので、商工会議所指導課(23-1181内線62番)にお申込み下さい。